

「世界の歯科技工事情（技術と制度）」（歯科技工に関する情報技術）

世界に冠たる日本の国民皆保険も、少子高齢化によりその行く末が窺われています。

日本国民の平均年齢は46.5歳と世界でも最も高齢化した状態となっています。人口ボーナス（総人口に占める働く人の割合が上昇し、経済成長が促進されること）が終了した国では多くの国で、その年か翌年にバブルの崩壊が起き、経済成長が鈍化し始めます。日本のそれは1990年に当たり、ご記憶に新しい方も多い事でしょう。

かたや、ASEAN 諸国（東南アジア諸国連合）の平均年齢は若く、そのほとんどが20代です。

歯科業界において、イノベーションの進んだ欧米諸国と、若い ASEAN 諸国に挟まれた日本の問題を様々な視点、角度から考察してみたいと思います。